

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2015-83473

(P2015-83473A)

(43) 公開日 平成27年4月30日(2015.4.30)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード(参考)
B 6 5 D 5/66 (2006.01)	B 6 5 D 5/66 3 0 1 J	3 E 0 6 0
	B 6 5 D 5/66 3 0 1 G	
	B 6 5 D 5/66 3 0 1 D	

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2013-216198 (P2013-216198)
 (22) 出願日 平成25年10月17日(2013.10.17)
 (31) 優先権主張番号 特願2013-192300 (P2013-192300)
 (32) 優先日 平成25年9月17日(2013.9.17)
 (33) 優先権主張国 日本国(JP)

(71) 出願人 505437044
 広瀬 康男
 東京都足立区西新井2-16-2
 (74) 代理人 110000718
 特許業務法人中川国際特許事務所
 (72) 発明者 広瀬 康男
 東京都足立区西新井2-16-2
 Fターム(参考) 3E060 AA03 AB05 BA03 BB01 BB05
 BC04 CE04 CE07 CE13 CE14
 CE18 CF05 CG12 DA13 DA14
 DA15 DA16

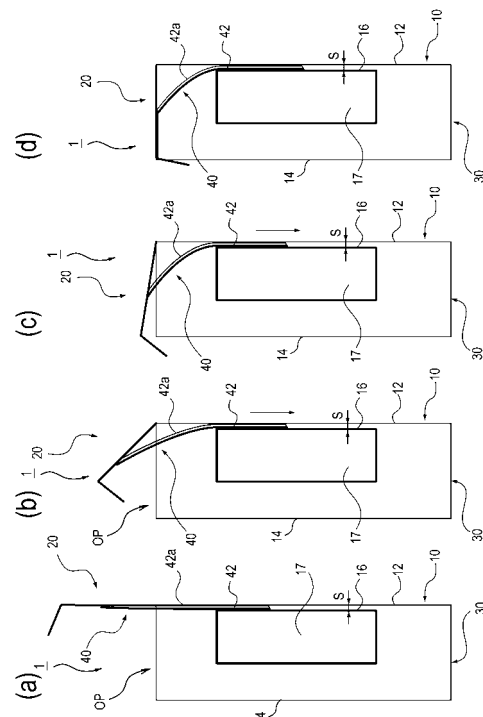
(54) 【発明の名称】 包装容器

(57) 【要約】

【課題】 差込片のない蓋部が、開口部を塞いだ状態で保持されるように構成すること。

【解決手段】 本体構成板10によって形成された開口部OPを蓋部片20にて覆うことで内容物を包装する包装容器1であって、本体構成板10のうち蓋部片20に連結される背面側板12と、背面側板12の内側近傍に形成される隙間部形成片16と、蓋部片20の内側に連結される背面側板12と隙間部形成片16との間に形成された隙間Sを摺動する摺動片42と、を有することを特徴とする包装容器1。

【選択図】 図4



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

本体構成板によって形成された開口部を蓋部片にて覆うことで内容物を包装する包装容器であって、

本体構成板のうち前記蓋部片に連結される蓋部連結片と、
前記蓋部連結片の内側近傍に形成される隙間部形成片と、
前記蓋部片の内側に連結される前記蓋部連結片と前記隙間部形成片との間に形成された隙間にて摺動する摺動片と、
を有することを特徴とする包装容器。

【請求項 2】

前記摺動片には制御片が連結され、
前記本体構成板には前記制御片を露出可能な窓部が形成され、
前記窓部から露出した前記制御片の一部を外部へ起き上がらせることで前記蓋部片をロックすることを特徴とする請求項 1 に記載の包装容器。

【請求項 3】

前記摺動片は摺動方向に沿ってリブが形成されることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の包装容器。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、本体構成片によって形成された開口部を蓋部片にて覆うことで内容物を包装する包装容器に関する。

【背景技術】**【0002】**

紙製の包装容器で、本体構成片によって形成された開口部を蓋部片にて覆うことで内容物を包装するものがある（例えば、特許文献 1 参照）。

【0003】

特許文献 1 の包装容器は、容器側部によって囲まれて形成される開口部を塞ぐため、蓋部材（第一蓋部材）に差込片を連結している。この構成で、差込片と容器側部の内面との摩擦、及び差込片と蓋部保持片との係合とにより、蓋部材が前記開口部に対して塞いだ状態で保持する。このように、従来構成では、開口部を塞いだ状態で蓋部材を保持するためには、差込片が必須であった。

【先行技術文献】**【特許文献】****【0004】**

【特許文献 1】 実用新案登録第 3 1 8 3 1 0 0 号

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0005】**

しかしながら、蓋部材を保持するために差込片が必須であるとする、包装容器の構成するにあたりデザインの制約を課すことになっていた。

【0006】

このため、本発明の目的は、差込片のない蓋部が、開口部を塞いだ状態で保持されるように構成することである。

【課題を解決するための手段】**【0007】**

上記目的を達成するための本発明の第 1 の構成は、本体構成板によって形成された開口部を蓋部片にて覆うことで内容物を包装する包装容器であって、本体構成板のうち前記蓋部片に連結される蓋部連結片と、前記蓋部連結片の内側近傍に形成される隙間部形成片と、前記蓋部片の内側に連結される前記蓋部連結片と前記隙間部形成片との間に形成された

10

20

30

40

50

隙間を摺動する摺動片と、を有することを特徴とする包装容器である。

【0008】

本発明の第2の構成は、前記摺動片には制御片が連結され、前記本体構成板には前記制御片を露出可能な窓部が形成され、前記窓部から露出した前記制御片の一部を外部へ起き上がらせることで前記蓋部片をロックすることを特徴とする第1の構成に記載の包装容器である。

【0009】

本発明の第3の構成は、前記摺動片は摺動方向に沿ってリブが形成されることを特徴とする第1の構成または第2の構成に記載の包装容器である。

【発明の効果】

10

【0010】

上記構成にしたことにより、差込片のない蓋部であっても開口部を塞いだ状態で保持される。

【0011】

具体的には、第1の構成によれば、蓋部片を180°の状態から90°の状態にする過程において、摺動片が蓋部連結片と隙間部形成片との間に形成された隙間を摺動する。これにより、摺動片の隙間における摩擦により、開口を開放された状態から閉塞した状態までの任意の位置において、蓋部片の姿勢を保持することができる。

【0012】

第2の構成によれば、窓部から露出した制御片の一部を外部へ起き上がらせることで蓋部片をロックすることができる。

20

【0013】

第3の構成によれば、リブを形成して補強することで、紙のようにクセが付きやすい素材であっても、長い期間、摺動片に円滑な摺動動作を行わせることができる。

【図面の簡単な説明】

【0014】

【図1】第1実施形態の包装容器の展開図。

【図2】第1実施形態の包装容器の組立時の状態を説明する斜視図。

【図3】第1実施形態の包装容器の組立時・完成時の内部状態を説明する斜視図。

【図4】第1実施形態の包装容器の動作を説明する概略断面図。

30

【図5】第2実施形態の包装容器の展開図。

【図6】第2実施形態の包装容器の組立時・完成時の内部状態を説明する斜視図。

【図7】第2実施形態の包装容器の動作を説明する斜視図。

【図8】第3実施形態の包装容器の展開図。

【図9】第3実施形態の包装容器の完成時・開閉時の内部状態を説明する斜視図。

【図10】第3実施形態の包装容器の摺動片の固定動作を説明する斜視図。

【発明を実施するための形態】

【0015】

〔第1実施形態〕

(包装容器1の構成)

40

図を用いて第1実施形態の包装容器1を説明する。図1は第1実施形態の包装容器の展開図である。(a)がブランク板表面、すなわち容器の外部側から見た面の展開図である。図2は第1実施形態の包装容器の組立時の状態を説明する斜視図である。

【0016】

包装容器1は、図1に示す一枚のブランク板を折りたたむことで形成される。包装容器1は、図2に示すように、連続する側板を折りたたんで内容物の収納空間を形成する本体構成板10と、本体構成板10によって囲まれることで形成される開口部OPを覆う蓋部片20と、底部30と、摺動部40を有する。

【0017】

図1の展開図を用いて、包装容器1の各部構成を説明する。本体構成板10は、折り目

50

を介して連続して形成される、右側板 1 1、背面側板 1 2（蓋部連結片）、左側板 1 3、正面側板 1 4、右内部側板 1 5、隙間部形成片 1 6、隙間部固定片 1 7を有する。なお、正面側板 1 4は切離線 D 1において切り離し可能である。

【0018】

蓋部片 2 0は、本体構成板 1 0に連結される摺動部連結片 2 1、側片 2 2、蓋部天面片 2 3、側片 2 4、から構成される。蓋部天面片 2 3の内部側には接着剤 Gが配設される。

【0019】

底部 3 0は、固定片 3 1、側片 3 2、被固定片 3 3、側片 3 4、から構成される。なお、底部 3 0の接着剤 Gは省略するが、固定片 3 1と被固定片 3 3とは互いに接着固定される。

【0020】

摺動部 4 0は、摺動部連結片 2 1に連結される摺動部固定片 4 1と、摺動片 4 2、とが折り目を介して連続して形成される。なお、摺動部固定片 4 1と摺動片 4 2との間には、折目 Aと切込 Dが形成され、折目 Aのみで一部つながっている。また、摺動片 4 2は後述の摺動方向に沿ってリブ 4 2 aが形成される。なお、リブ 4 2 aは、エンボス加工をすることで形成することが好ましい。

【0021】

次に、包装容器 1の組立ての際の特徴について、図 2及び図 3を用いて説明する。図 3は第 1実施形態の包装容器の組立時・完成時の内部状態を説明する斜視図である。図 3は、説明のために全ての片を透明にして説明している。なお、組立作業は自動包装によって行われる。

【0022】

まず、図 2に示すように、摺動部連結片 2 1と摺動部固定片 4 1との間で折ることにより、摺動部 4 0を形成する（図 2（a）参照）。

【0023】

そして、本体構成板 1 0を形成するため、隙間部固定片 1 7、隙間部形成片 1 6、右内部側板 1 5を折り、隙間部固定片 1 7を左側板 1 3に接着固定する。この際、本体構成板 1 0の内部で、背面側板 1 2の内側近傍に形成される隙間部形成片 1 6と背面側板 1 2との間に隙間 Sができるように接着固定する（図 2（b）参照）。

【0024】

そして、右側板 1 1が右内部側板 1 5上に重なるように、左側板 1 3、背面側板 1 2、右側板 1 1を折りつつ、右側板 1 1の接着剤 Gによって、右側板 1 1を右内部側板 1 5に対して固定する（図 3（a）参照）。

【0025】

そして、本体構成板 1 0によって形成された開口部 O Pを閉塞するために、蓋部片 2 0と底部 3 0とを閉じる。この際、摺動部 4 0の摺動片 4 2が蓋部片 2 0の内側に連結される背面側板 1 2と隙間部形成片 1 6との間に形成された隙間 Sに入り込む。

【0026】

なお、本実施形態における組立手順は、あくまでも構成を説明するためのものであって、これに限られるものではない。特に、自動包装においては、より効率の良い他の手順で組み立てることは可能である。

【0027】

（包装容器 1の使用状態）

図 4を用いて包装容器 1の使用状態を説明する。図 4は第 1実施形態の包装容器の動作を説明する概略断面図である。

【0028】

図 4（a）に示すように、蓋部片 2 0を開けた状態において、摺動部 4 0の摺動片 4 2は、蓋部片 2 0の内側に連結される背面側板 1 2と隙間部形成片 1 6との間に形成された隙間 Sに入り込んでいる。このため、摺動片 4 2は、蓋部片 2 0を動かす際に、背面側板 1 2と隙間部形成片 1 6との間に形成された隙間 Sにて摺動することとなる。

10

20

30

40

50

【 0 0 2 9 】

これにより、蓋部片 2 0 を 1 8 0 ° の状態（図 4（a）参照）から 9 0 ° の状態（図 4（d）参照）にする過程において、摺動片 4 2 は、隙間 S において摺動されることとなる。このように、摺動片 4 2 の隙間 S における摩擦により、開口部 O P を開放された状態（図 4（a）～（c）の状態）から閉塞した状態（図 4（d）の状態）までの任意の位置において、蓋部片 2 0 の姿勢を保持することができる。

【 0 0 3 0 】

この際、摺動片 4 2 にリブ 4 2 a が形成されることで、摺動片 4 2 は補強されるため、紙のようにクセが付きやすい素材であっても、長い期間、摺動片 4 2 に円滑な摺動動作を行わせることができる。

10

【 0 0 3 1 】

〔第 2 実施形態〕

（包装容器 2 の構成）

図を用いて第 2 実施形態の包装容器 2 を説明する。図 5 は第 2 実施形態の包装容器の展開図である。（a）がブランク板表面、すなわち容器の外部側から見た面の展開図である。図 6 は第 2 実施形態の包装容器の組立時・完成時の内部状態を説明する斜視図である。図 6 以降は、説明のために全ての片を透明にして説明している。前述の実施形態と同様の構成については、同符号を付し説明を省略する。

【 0 0 3 2 】

包装容器 2 の展開図（図 5）に示すように、摺動片 4 2 には摺動片 4 2 の側方に突出する制御片 5 0 が連結され、本体構成板 1 0 の右側板 1 1 には、制御片 5 0 を露出可能な窓部 1 1 A が形成される。

20

【 0 0 3 3 】

包装容器 2 を折り畳んで組み立てると、図 6 に示すように、制御片 5 0 が右側板 1 1 の窓部 1 1 A から露出する。

【 0 0 3 4 】

そして、図 6（b）に示す完成時に、制御片 5 0 のうち起き上げることが可能な起上部 5 1 も窓部 1 1 A から露出する。

【 0 0 3 5 】

（包装容器 2 の使用状態）

図 7 を用いて包装容器 2 の使用状態を説明する。図 7 は第 2 実施形態の包装容器の動作を説明する斜視図である。

30

【 0 0 3 6 】

図 7（a）に示すように、蓋部片 2 0 を開けた状態において、摺動部 4 0 の摺動片 4 2 は、蓋部片 2 0 の内側に連結される背面側板 1 2 と隙間部形成片 1 6 との間に形成された隙間 S に入り込んでいる。このため、蓋部片 2 0 を閉じる過程において、摺動片 4 2 は隙間 S にて摺動する。また、この状態において、制御片 5 0 は、右側板 1 1 と右内部側板 1 5 との間で挟持される。

【 0 0 3 7 】

蓋部片 2 0 を閉じた状態（図 7（b）参照）において、窓部 1 1 A から露出した制御片 5 0 の起上部 5 1 を外部へ起き上げると、起上部 5 1 が窓部 1 1 A と係合する。すると、制御片 5 0 の位置が固定され、制御片 5 0 と連結している摺動部 4 0、更には摺動部 4 0 と連結している蓋部片 2 0 の位置も固定される。これにより、蓋部片 2 0 を閉じた状態でロックすることができる。

40

【 0 0 3 8 】

制御片 5 0 によって、蓋部片 2 0 を閉じた状態でロックすることが可能になる。このように、チャイルドロック機能を付帯することで、包装容器 2 の安全性を高めることができる。

【 0 0 3 9 】

〔第 3 実施形態〕

50

(包装容器 3 の構成)

図を用いて第 3 実施形態の包装容器 3 を説明する。図 8 は第 3 実施形態の包装容器の展開図である。図 9 は第 3 実施形態の包装容器の完成時・開閉時の内部状態を説明する斜視図であり、(a) が蓋部片 2 0 を閉めた状態であり、(b) が蓋部片 2 0 を開けた状態である。図 1 0 は第 3 実施形態の包装容器の摺動片の固定動作を説明する斜視図であり、(a) が制御片 6 0 を起こす前の状態、(b) が制御片 6 0 を起こした状態を示す。

【 0 0 4 0 】

図 9 及び図 1 0 は、説明のために全ての片を透明にして説明している。また摺動片 4 2 は動作時の姿勢を明確にするため網掛けしている。前述の実施形態と同様の構成については、同符号を付し説明を省略する。

10

【 0 0 4 1 】

包装容器 3 の展開図 (図 8) に示すように、摺動片 4 2 には切離線 D 6 0 と折目を介して区分される制御片 6 0 が形成される。一方、本体構成板 1 0 の右側板 1 1 には、制御片 6 0 を露出可能な窓部 1 1 B が形成される。

【 0 0 4 2 】

包装容器 3 を折り畳んで組み立てると、図 9 (a) に示すように、摺動片 4 2 のうち、制御片 6 0 の部分が右側板 1 1 の窓部 1 1 B から露出する。図 9 (b) に示すように、蓋部片 2 0 を開放すると、摺動片 4 2 及び制御片 6 0 は、背面側板 1 2 と隙間部形成片 1 6 との間の隙間 S においてスライド移動する。

20

【 0 0 4 3 】

(包装容器 3 の摺動片 4 2 の固定動作)

図 1 0 (a) に示すように、蓋部片 2 0 を閉じた状態においては、制御片 6 0 が窓部 1 1 B から露出する。

【 0 0 4 4 】

この状態で、制御片 6 0 を外部へ起き上げると、制御片 6 0 が窓部 1 1 B と係合する。すると、制御片 6 0 の位置が固定され、制御片 6 0 と連結している摺動部 4 0、更には摺動部 4 0 と連結している蓋部片 2 0 の位置も固定される。これにより、蓋部片 2 0 を閉じた状態でロックすることができる。

【 0 0 4 5 】

本実施形態においても、制御片 6 0 によって、蓋部片 2 0 を閉じた状態でロックすることが可能になる。このように、チャイルドロック機能を付帯することで、包装容器 3 の安全性を高めることができる。

30

【 0 0 4 6 】

また、本実施形態では、制御片 6 0 が摺動片 4 2 と同一平面に形成される。このような構成であると、蓋部片 2 0 の開閉の際に、蓋部片 2 0 と連動して動く摺動片 4 2 の隙間 S における摺動がより円滑に行われる。このため、蓋部片 2 0 の開閉動作がより円滑なものとなる。

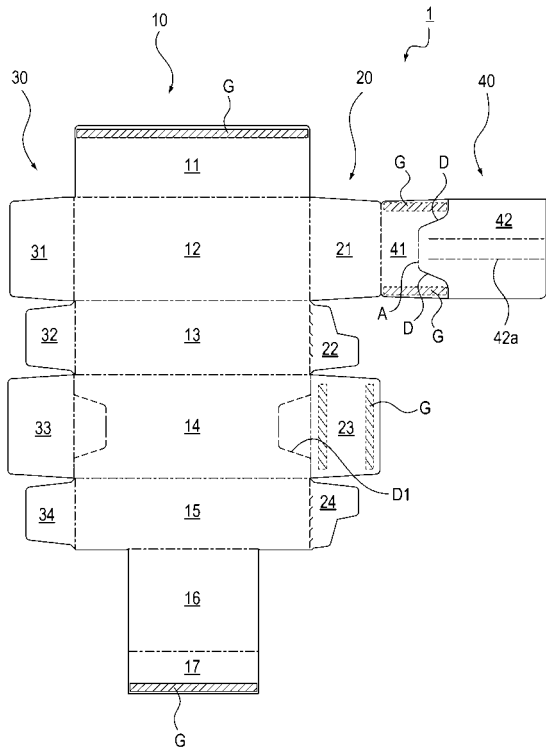
【 符号の説明 】

【 0 0 4 7 】

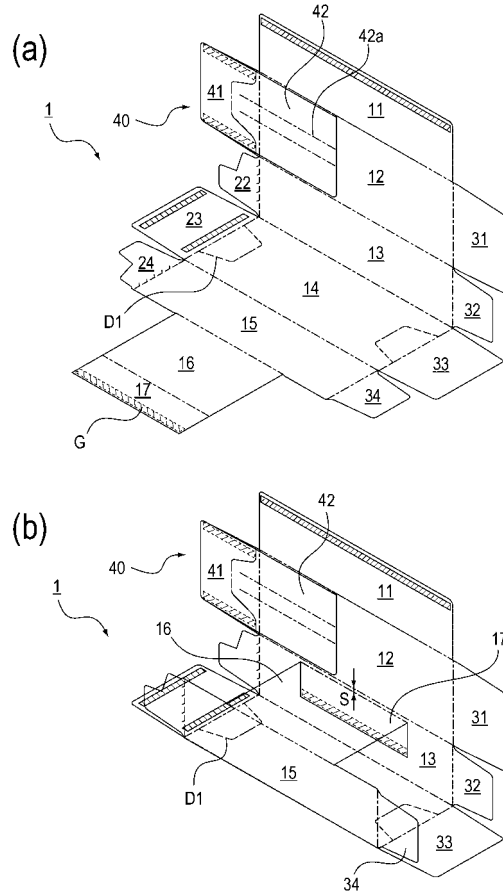
A ... 折目、D ... 切込、D 1 ... 切離線、D 6 0 ... 切離線、G ... 接着剤、O P ... 開口部、S ... 隙間、1 ... 包装容器、2 ... 包装容器、3 ... 包装容器、1 0 ... 本体構成板、1 1 ... 右側板、1 1 A ... 窓部、1 2 ... 背面側板、1 3 ... 左側板、1 4 ... 正面側板、1 5 ... 右内部側板、1 6 ... 隙間部形成片、1 7 ... 隙間部固定片、2 0 ... 蓋部片、2 1 ... 摺動部連結片、2 2 ... 側片、2 3 ... 蓋部天面片、2 4 ... 側片、3 0 ... 底部、3 1 ... 固定片、3 2 ... 側片、3 3 ... 被固定片、3 4 ... 側片、4 0 ... 摺動部、4 1 ... 摺動部固定片、4 2 ... 摺動片、4 2 a ... リブ、5 0 ... 制御片、5 1 ... 起上部、6 0 ... 制御片

40

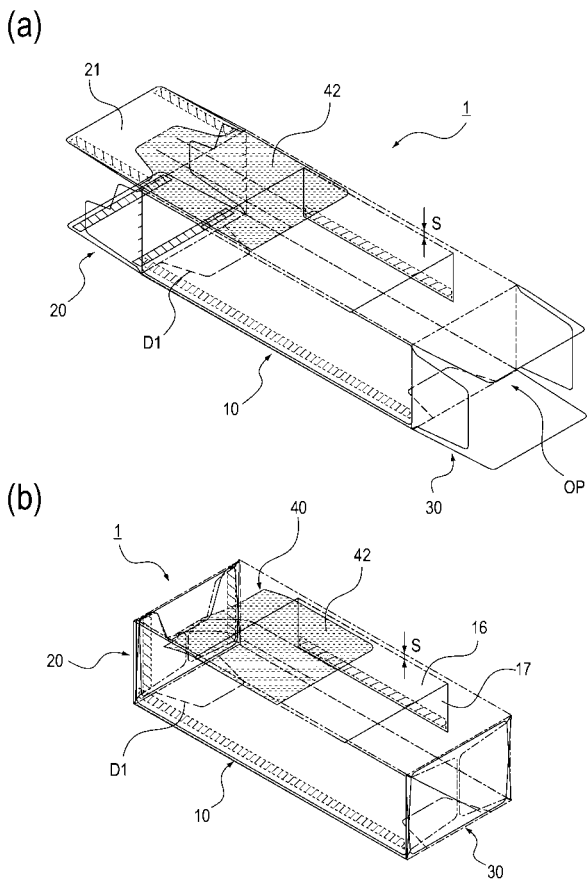
【 図 1 】



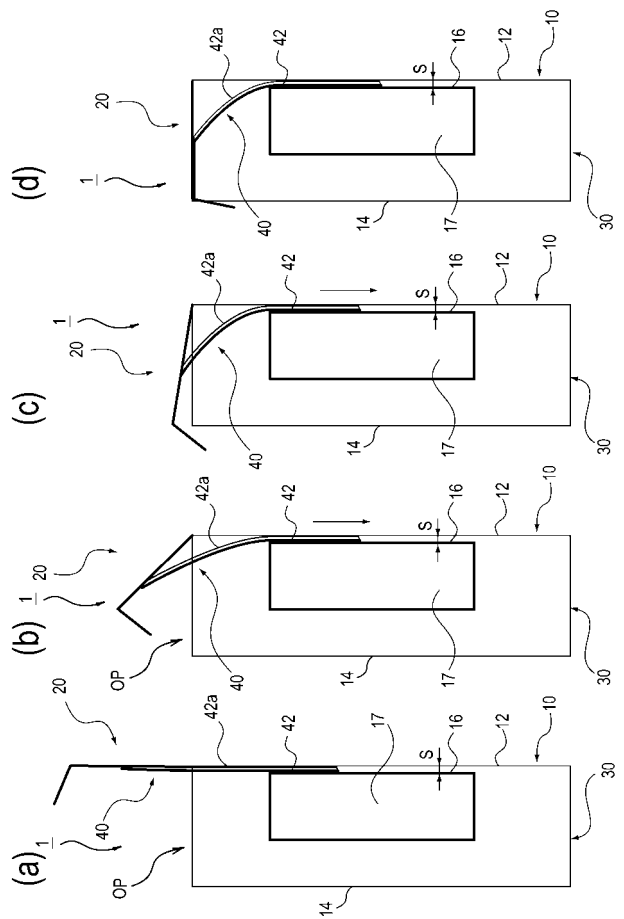
【 図 2 】



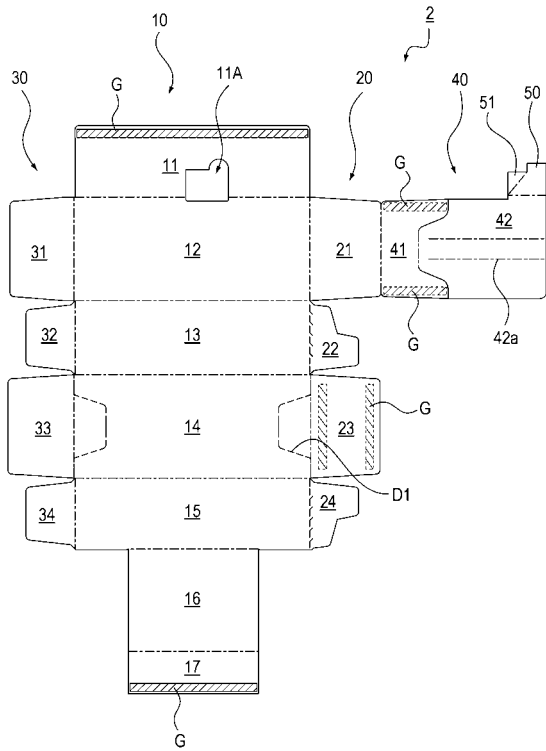
【 図 3 】



【 図 4 】

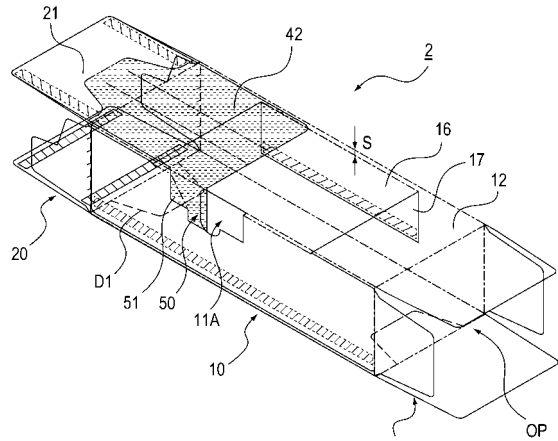


【 図 5 】

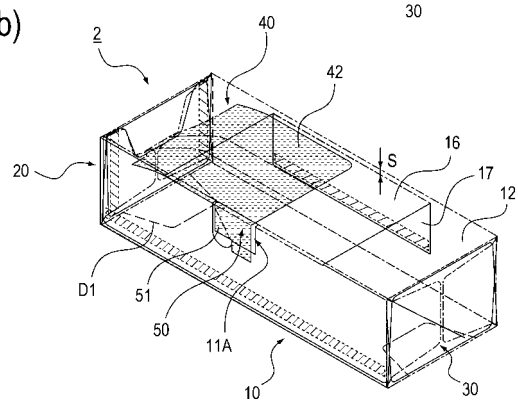


【 図 6 】

(a)

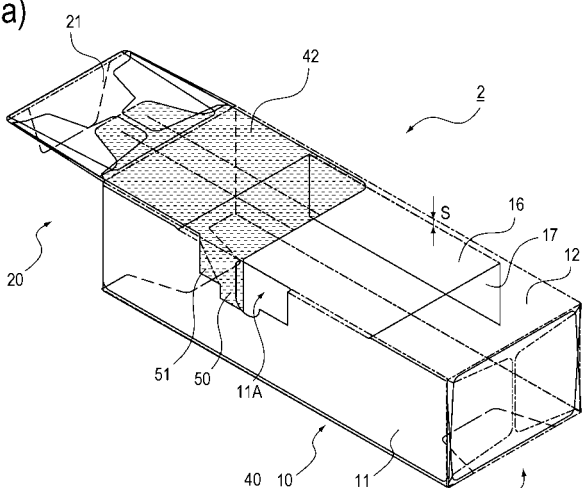


(b)

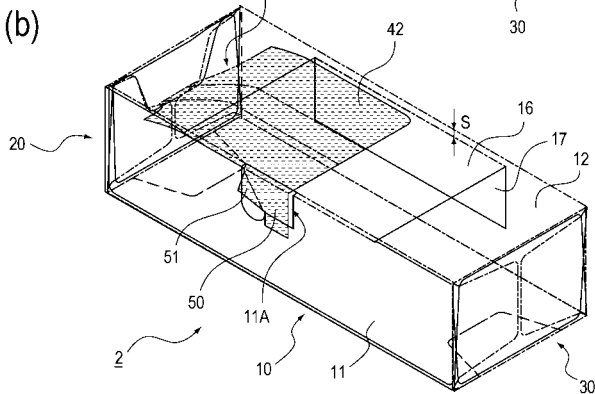


【 図 7 】

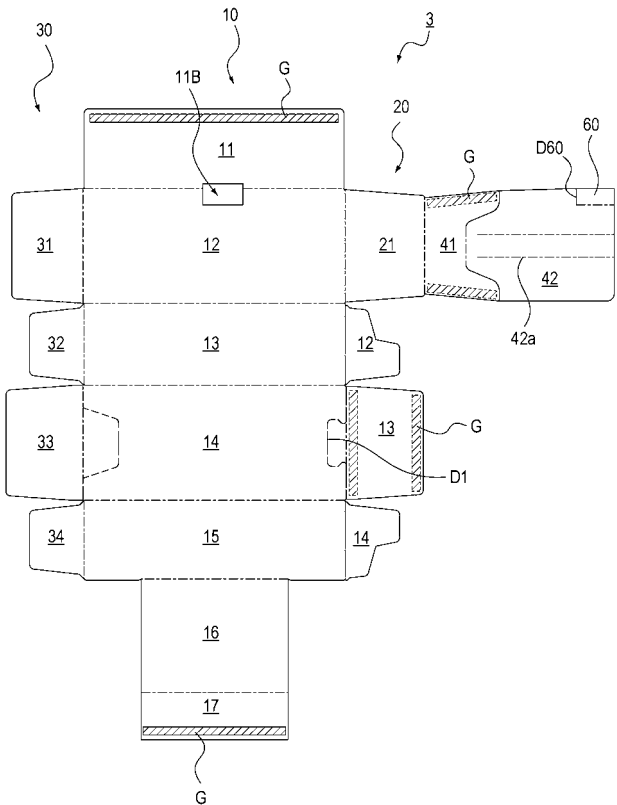
(a)



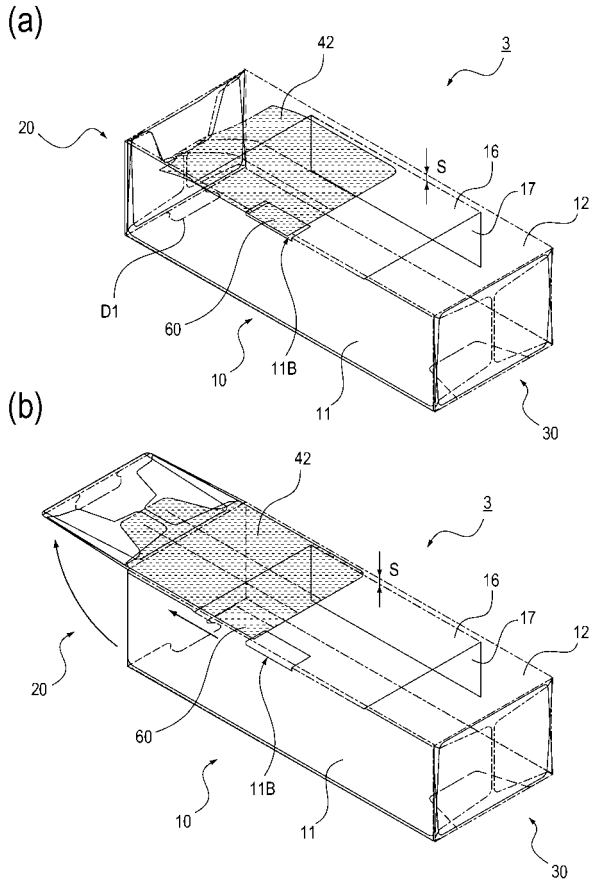
(b)



【 図 8 】



【図9】



【図10】

